

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 55 問で解答時間は正味 1 時間 15 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

(例 1)、(例 2)及び(例 3)の問題では 1 から 4 までの 4 つの選択肢、もしくは 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)、(例 2)では 1 つ、(例 3)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

なお、(例 1)、(例 2)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。(例 3)の質問には、1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1)

101 助産業務を行うことが可能となるのはどれか。

1. 国家試験受験日以降
2. 合格発表日以降
3. 合格証書受領日以降
4. 助産師籍登録日以降

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101 ① ② ③ ④
↓
101 ① ② ③ ●

答案用紙②の場合、

101 101
① ①
② ②
③ ③
④ ●

(例2)

102 助産師国家試験の受験資格が規定されているのはどれか。

1. 医療法
2. 学校教育法
3. 母子保健法
4. 保健師助産師看護師法
5. 看護師等の人材確保の促進に関する法律

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

102	①	②	③	④	⑤
			↓		
102	①	②	③	●	⑤

答案用紙②の場合、

102	102
①	①
②	②
③	→ ③
④	●
⑤	⑤

(例3)

103 助産師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

103	①	②	③	④	⑤
			↓		
103	●	②	③	④	●

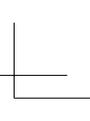
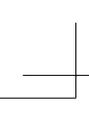
答案用紙②の場合、

103	103
①	●
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	●



TP04mw-amor-3





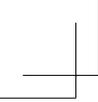
TP04mw-amor-4





TP04mw-amor-5





TP04mw-amor-6



1 Klinefelter〈クラインフェルター〉症候群で正しいのはどれか。

1. 低身長がみられる。
2. 先天性心疾患を伴う。
3. X 染色体のモノソミーが原因である。
4. 2 本以上の X 染色体と 1 本以上の Y 染色体を有する。

2 A さんは、外陰部に軽い搔痒感を伴う隆起性病変に気づいて受診し、尖圭コンジローマと診断された。

A さんの治療で正しいのはどれか。

1. 抗菌薬の服用
2. ポビドンヨードによる消毒
3. 副腎皮質ステロイドの塗布
4. イミキモドクリーム of 塗布

3 新生児の帽状腱膜下血腫について正しいのはどれか。

1. 骨膜下の出血である。
2. 生後 4、5 日で発症する。
3. 骨縫合を越えることはない。
4. 出血性ショックの原因となる。

4 50歳の女性。夫と2人暮らし。更年期の健康教室終了後に「月経が不規則になりそろそろ生理が止まりそうで寂しい気がします。最近、これまでのように性欲がありません。妻としてこれでいいのかと思っています」と助産師に相談した。簡略更年期指数の得点は100点中23点であった。

最初の対応で最も適切なのはどれか。

1. カウンセリングを勧める。
2. 医療機関の受診を勧める。
3. 健康的なライフスタイルについて指導する。
4. 女性としての自己イメージについて確認する。

5 Dubowitz 法による新生児成熟度の評価において成熟度が高いのはどれか。

1. 耳介が平坦である。
2. 乳腺線維を触れない。
3. 皮膚の血管が見えない。
4. 足底のしわがない。

6 自然流産について正しいのはどれか。

1. 高齢妊婦では頻度が上昇する。
2. 妊娠12週以降に生じやすい。
3. 最も多い原因は感染である。
4. 全妊婦の約5%に生じる。

7 妊娠 36 週 0 日の妊婦健康診査で胎児発育不全(FGR)が認められた。

経腹超音波検査による胎児の状態評価において、胎内環境が不良であることを示唆するのはどれか。

1. 手掌の開閉動作がある。
2. 羊水ポケットが 5 cm である。
3. 臍帯動脈血流が逆流している。
4. 呼吸様運動が 30 分間に 2 回ある。

8 思春期の子どもがいる親を対象に「思春期の子どもとの関わり方を考える」をテーマに、15 人定員の参加型の小集団健康教室を計画した。

教室の運営で最も適切なのはどれか。

1. 講師による講義形式で行う。
2. 教室の運営は参加者に任せる。
3. 親の年齢によってグループに分ける。
4. 参加者の顔が見えるようにサークル型に椅子を置く。

9 妊産婦への B 群溶連菌(GBS)の検査と対応について正しいのはどれか。

1. 検査部位は咽頭である。
2. 検査時期は妊娠 16 週未満である。
3. 検査は母体敗血症の予防のために実施する。
4. 保菌者にはペニシリン系抗菌薬の投与が行われる。

10 30歳の初妊婦。妊娠23週5日。妊娠経過は良好。1年前から正規雇用の職員として働いている。「妊婦健康診査は有給休暇をとって受診していました。今後は妊婦健康診査の回数が増えたり、出産後も子どものことで仕事を休む機会が増えると思うのでどのような制度があるか聞きたい」と言う。

この妊婦への情報提供として正しいのはどれか。

1. 「妊婦健康診査の受診に必要な時間を確保するための休暇の申請ができます」
2. 「産後休暇の後に育児休業が1年とれます」
3. 「看護休暇は1年に20日が限度です」
4. 「子どもが小学生になるまで短時間勤務が可能です」

11 児娩出時の体幹の把持方法の写真(別冊 No. 1 ①～④)を別に示す。

適切なのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

別 冊

No. 1 ①～④

12 36歳の初産婦。妊娠40週2日。午前11時25分に女児を娩出し、午前11時35分に胎盤を娩出した。胎盤娩出後の子宮底の高さは臍下2横指、硬式テニスボール様の硬さであった。出血が持続し、出血量は800 mL。陰鏡診で、頸管9時方向に裂傷が認められた。

この時点で助産師がまず行う処置はどれか。

1. 子宮双手圧迫法
2. 子宮底輪状マッサージ法
3. 麦角アルカロイドの準備
4. ガーゼの腔内充填による圧迫

13 産褥4日の褥婦のバイタルサインで正常から逸脱しているのはどれか。

1. 体温 38.0℃
2. 呼吸数 20/分
3. 脈拍 60/分、整
4. 血圧 136/80 mmHg

14 乳腺炎の褥婦に対する指導で正しいのはどれか。

1. 搾乳しない。
2. 乳房を温める。
3. 授乳を継続する。
4. 高エネルギー食を摂る。

15 Aさん(29歳、経産婦)。妊娠36週0日で胎児機能不全のため緊急帝王切開を受け2,320gの男児を出産した。児は一過性多呼吸(TTN)のためNICUに入院した。産褥1日、助産師は午前9時にAさんを訪室した。Aさんは「私の子は元気ですか、心配です。今すぐに子どもに会いたい。午後の面会時間に来る上の子や夫に状況を話したい」と訴えた。

Aさんへの説明で適切なのはどれか。

1. 「午後の面会時間まで待ちましょう」
2. 「一過性多呼吸は心配のない病気です」
3. 「赤ちゃんに早めに会えるよう調整してみます」
4. 「お母さんも赤ちゃんも元気になったら会いに行きましょう」

16 正常新生児の呼吸器系の特徴について正しいのはどれか。

1. 口呼吸である。
2. 胸式呼吸を主体とする。
3. シーソー呼吸がみられる。
4. 軽度の鼻閉音が聞かれる。

17 妊娠41週2日の1回経産婦。分娩時の胎児心拍数陣痛図でレベル5の異常波形が出現し、血管確保を行い、吸引分娩で出産した。児の体重は2,600g。Apgar(アプガー)スコアは1分後7点、5分後9点。分娩第3期までの出血量は400mL、分娩後2時間の出血量は50mL。産婦は初回歩行を行い、気分不快はなかった。児の状態は良好であった。

このときの対応で適切なのはどれか。

1. 輸液を継続して行う。
2. 母児同室で経過をみる。
3. 児を保育器で観察する。
4. 分娩後8時間まで安静にするよう説明する。

18 在胎 28 週 0 日、体重 1,200 g で緊急帝王切開により出生した男児。Apgar〈アプガー〉スコアは 1 分後 3 点で、気管内挿管後に NICU に入院し、呼吸窮迫症候群〈RDS〉と診断された。肺サーファクタント補充療法後、人工呼吸管理を開始し、いったん呼吸状態は安定した。2 時間後に突然、児は徐脈になり、皮膚色が蒼白になった。

急変の原因として最も考えられるのはどれか。

1. 無気肺
2. 緊張性気胸
3. 気管支肺異形成
4. 脳室周囲白質軟化症

19 乳幼児期における事故を予防するための方法で最も適切なのはどれか。

1. 車に乗るときは親が抱く。
2. おもちゃはデザインで選ぶ。
3. 子どもを 1 人で家に残さない。
4. 風呂の残り湯は浴槽の底から 10 cm 以下とする。

20 4か月児健康診査に来所した母児。児の計測時、大腿部につねったようなあざがみられた。児の表情は乏しく笑顔が見られない。母親は人目を気にするようにして落ち着きがなく、計測が終わると助産師から児を取り上げるようにした。児の体重は出生時2,300g、生後1か月3,100gと母子健康手帳に記載があり、本日は4,000gであった。体温37.2℃、呼吸数34/分、脈拍110/分。定頸している。オムツかぶれはない。

児のアセスメントで最も適切なのはどれか。

1. 発育は正常である。
2. 運動発達に異常がある。
3. 被虐待児の可能性はある。
4. バイタルサインは正常から逸脱している。

21 18歳の女性。未婚。無職。パートナーはいるが、経済的支援を受けられない。両親の所在は不明。腹痛の訴えがあり救急車で病院に搬送された。診察の結果、妊娠37週相当と診断され、胎児心拍数モニタリングを行い、胎児のwell-beingは良好であった。子宮口は8cm開大している。女性は「妊娠していると思わなかった。自分では育てられない」と言う。

この時点で連携をとる施設はどれか。

1. 乳児院
2. 助産施設
3. 母子生活支援施設
4. 市町村保健センター

22 養育医療について正しいのはどれか。

1. 保護者が申請する。
2. 申請先は都道府県である。
3. 入院しない児も対象となる。
4. 児童福祉法に基づく制度である。

23 Aさん(35歳、初産婦)。妊娠38週3日、3,600gの女児を正常分娩した。分娩時、会陰裂傷第3度と膣壁裂傷とがあり縫合術が施行された。Aさんから「私の分娩には健康保険が使えますか」と質問があった。

助産師の説明で最も適切なのはどれか。

1. 「裂傷の大きさによって異なります」
2. 「帝王切開以外は使えません」
3. 「縫合の処置料は使えます」
4. 「分娩介助料は使えます」

24 病院の助産師外来に通院している妊婦が助産所での分娩を希望した場合、助産所に転院可能なのはどれか。

1. 合併している糖尿病の血糖コントロールは良好である。
2. 先天性心疾患を有する児の分娩歴がある。
3. 不妊治療後、順調に経過している。
4. 身長145cmである。

25 31歳の初妊婦。妊娠30週0日、双胎妊娠。小学校の教員。
この妊婦へ支給される出産育児一時金で正しいのはどれか。

1. 42万円である。
2. 所得制限がある。
3. 2人分支給される。
4. 出産前から受け取ることができる。

26 30歳の初産婦。妊娠38週3日、3,020gの女児を正常分娩した。産褥4日、経過は順調で退院指導のために児を新生児室に預けていた。児の状態は良好である。
午後1時、地震が発生し避難することになった。

危険を防止するために新生児を避難させる方法として最も適切なのはどれか。

1. 母親が抱く。
2. 助産師が抱く。
3. コットを使用する。
4. 最も近くにいる人が抱く。

27 母体血を用いた非侵襲的出生前遺伝学的検査〈NIPT〉について正しいのはどれか。

1. 妊娠9週未満で行う。
2. 確定的な検査ではない。
3. 母体血中のホルモン値に基づいて判定される。
4. 陽性であれば直ちに人工妊娠中絶の対象となる。
5. Turner〈ターナー〉症候群の診断を目的としている。

28 マイナートラブルとして胸やけを訴える妊婦への保健指導で適切なのはどれか。

1. 水分の摂取を制限する。
2. 頻回にうがいするように勧める。
3. 乳製品を多く摂取するように勧める。
4. コーヒーを過剰に摂取しないように注意する。
5. ビタミン A を過剰に摂取しないように注意する。

29 在胎 38 週 0 日、1,850 g で出生した女児。外表奇形として、小下顎、耳介低位、後頭部の突出、手指の重なり及び揺り椅子状の足底が認められた。

最も考えられるのはどれか。

1. ネコ鳴き症候群
2. 13 トリソミー
3. 18 トリソミー
4. 21 トリソミー
5. Turner〈ターナー〉症候群

30 30 歳の初産婦。産褥 4 日。子宮底の高さは臍下 3 横指、硬度は良好で、授乳後に血性悪露がみられる。Hb 11.6 g/dL。下肢に軽度の浮腫を認める。乳房は軽度緊満で、乳管口の開口数は左右 6 本ずつである。食事は摂れているが、分娩後に排便がなく腹部膨満感がある。

ケアの優先度が高いのはどれか。

1. 子宮復古状態
2. 貧血の状態
3. 浮腫の状態
4. 乳房の状態
5. 排便の状態

31 18歳の初産婦。妊娠40週0日で正常分娩した。産褥3日、訪室すると啼泣している児のそばでテレビを観ている。児の寝衣は汚れている。母乳分泌は良好で3時間ごとに授乳を行っているが「眠たいので子どもの世話は面倒だ」と言う。

適切な声かけはどれか。

1. 「人工乳を足しましょう」
2. 「母親の自覚を持ちなさい」
3. 「赤ちゃんがかわいそうですね」
4. 「授乳間隔を延ばして休みましょう」
5. 「一緒に赤ちゃんの着替えをしましょう」

32 糖尿病合併妊娠について正しいのはどれか。

1. 経口血糖降下薬が治療の第一選択である。
2. 妊娠中は糖尿病網膜症が悪化する危険性は低い。
3. 胎児の先天奇形の発生率は妊娠初期の血糖値と関係しない。
4. 妊娠中は食後2時間の血糖値120 mg/dL以下を目標とする。
5. 産褥期にはインスリンの必要量は増加する。

33 在胎 37 週 3 日、体重 2,800 g で出生した女児。生後 30 日に 1 か月児健康診査のため来院した。母乳栄養を行っており、この日の体重は 3,600 g。先天性代謝異常検査は全項目正常だが、母親は生後 1 か月になっても児の黄疸が遷延していることを気にしている。児の便の写真(別冊 No. 2)を別に示す。

この母親に対する黄疸の説明で最も適切なのはどれか。

1. 「先天性甲状腺機能低下症の疑いがあります」
2. 「体重増加不良により黄疸が長引いています」
3. 「入院して光線療法を行う必要があります」
4. 「母乳性黄疸であり、心配はいりません」
5. 「直ちに黄疸の詳細な検査が必要です」

別 冊

No. 2

34 女性生殖器の外性器はどれか。2 つ選べ。

1. 陰 核
2. 膣
3. 処女膜
4. 子 宮
5. 卵 管

35 最終月経の開始から6週3日。尿検査で妊娠反応陽性を確認後2週が経過しているが、胎嚢が子宮内に確認できない。性器出血はない。

次に行う検査で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 子宮卵管造影
2. 尿蛋白量の測定
3. 膣分泌物の細菌培養
4. 内診による付属器周辺の圧痛の確認
5. 血中ヒト絨毛性ゴナドトロピン〈hCG〉の測定

36 臨床的絨毛膜羊膜炎の診断基準に当てはまるのはどれか。2つ選べ。

1. 羊水の混濁
2. 子宮の圧痛
3. 母体脈拍 80/分
4. 膣分泌物の増加
5. 母体体温 38.3℃

37 切迫子宮破裂で特徴的にみられるのはどれか。2つ選べ。

1. 嘔吐
2. 浮腫
3. 過強陣痛
4. 不穏状態
5. 母体の徐脈

38 産褥期の肺塞栓症のリスク因子となるのはどれか。2つ選べ。

1. 分娩誘発
2. 前期破水
3. 精神的な興奮
4. 飲水量の制限
5. 妊娠高血圧症候群

39 新生児の呼吸窮迫症候群〈RDS〉について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 肺胞の表面張力は低下している。
2. 糖尿病合併妊娠では発症頻度が上昇する。
3. 破水後時間が経つと発症頻度は上昇する。
4. マイクロバブルテストは診断に有用である。
5. 酸素管理は動脈血酸素分圧〈PaO₂〉を 100 Torr 以上に保つ。

40 保健師助産師看護師法施行規則に規定されている助産録の記載事項はどれか。

2つ選べ。

1. 妊娠高血圧症候群の妊婦の治療方針
2. 産婦の配偶者の職業
3. 保健指導の要領
4. 産婦の性格
5. 分娩経過

次の文を読み 41～43 の問いに答えよ。

在胎 30 週 3 日、正常分娩で出生した男児。出生体重 1,250 g、身長 38 cm。出生直後に啼泣あり、羊水混濁はなかった。小児科医の蘇生処置後、直ちに NICU に入院した。保育器に収容され、体温 36.1℃、呼吸数 40/分、心拍数 160/分、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉 98 % (保育器内酸素濃度 25 %) であった。

41 入院時の適切なケアはどれか。

1. 人工換気を開始する。
2. 頸部を前屈位に保持する。
3. 直ちに糖水を経口投与する。
4. 保育器内の設定温度を 35.0℃にする。

42 生後 12 時間で周期性呼吸と左鎖骨下に心雑音が認められた。体温 37.0℃、呼吸数 52/分、心拍数 180/分、血圧 48/18 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉 98 % (保育器内酸素濃度 25 %)。

最も考えられる合併症はどれか。

1. 未熟児無呼吸発作
2. 未熟児動脈管開存症
3. 一過性多呼吸〈TTN〉
4. 呼吸窮迫症候群〈RDS〉

43 生後 70 日。修正週数 40 週、体重は 2,150 g となり、近く退院予定である。助産師は母親から「退院後、感染に対してどのように気をつければよいでしょうか」と相談を受けた。

最も適切な対応はどれか。

1. RS ウイルス感染症の予防接種について話す。
2. 退院後、半年間は受診時以外に外出をしないように話す。
3. 早産児は一般の乳児よりも感染に対する抵抗力が高いと話す。
4. 退院日から 3 か月以降に定期的予防接種を開始するように話す。

次の文を読み 44～46 の問いに答えよ。

A さん(38 歳、初産婦)。分娩後 7 か月、母乳育児をしている。避妊法に関する相談で受診し経口避妊薬を開始したいという。身長 160 cm、体重 68 kg。産褥 3 日に高血圧に対して降圧薬が処方され 1 か月内服した。現在は内服していない。1 日 20 本喫煙している。

44 助産師は、このままでは経口避妊薬の内服は禁忌であると判断した。

判断した理由で正しいのはどれか。

1. 肥 満
2. 喫 煙
3. 母乳育児中
4. 分娩からの期間
5. 降圧薬内服の既往

45 A さんは「現在、コンドームで避妊している。夫は避妊にあまり協力的ではない。来月から仕事に復帰するので、今は妊娠したくない」と言う。

この場合、検討すべき避妊方法で適切なのはどれか。

1. 基礎体温法
2. 精管切除結紮術
3. 子宮内避妊器具〈IUD〉
4. コンドームの使用の継続

46 Aさんは「今の子どもが小学生になってから次の妊娠をしようと思っています」と話した。

説明すべき内容で最も適切なのはどれか。

1. 妊孕力
2. 各避妊法の失敗率
3. 人工妊娠中絶の弊害
4. 男性と女性の身体の仕組み

次の文を読み 47～49 の問いに答えよ。

A さん(33 歳、初産婦)。妊娠 36 週 3 日。散歩中にサラサラと流れる出血があり、月経痛よりも強い持続的な下腹部痛を感じた。胎動は自覚しているが心配になり、A さんは受診している病院に電話した。夫は自宅から 1 時間程度の場所にある職場で勤務中のため不在であった。

47 この時点での対応で適切なのはどれか。

1. 「直ちに来院してください」
2. 「夫が帰宅してから一緒に来院してください」
3. 「入院に必要な物品を整えてから来院してください」
4. 「しばらく様子を見て腹痛が持続しているなら来院してください」

48 来院時、A さんは腹部の痛みを訴え苦悶様の表情をしている。子宮は持続的に固く触れる。体温 36.8℃、呼吸数 15/分、脈拍 95/分、血圧 130/80 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉100 %。内診所見は、子宮口 2 cm 開大、展退度 40 %、Station -2、第 1 頭位、未破水。子宮口から持続的な血性の液体流出を認める。このときの胎児心拍数陣痛図(別冊 No. 3)を別に示す。

胎児心拍数陣痛図で認める所見はどれか。

1. 基線細変動の亢進
2. 胎児心拍数基線の低下
3. 遅発一過性徐脈
4. 変動一過性徐脈
5. 早発一過性徐脈

別 冊
No. 3

49 胎児心拍数陣痛図を確認した後の対応として適切なのはどれか。

1. 歩行を促す。
2. 帝王切開の準備を進める。
3. 降圧薬の点滴静脈内注射を準備する。
4. オキシトシン点滴静脈内注射を準備する。
5. 胎児心拍数陣痛モニタリングを中止する。

次の文を読み 50～52 の問いに答えよ。

A さん(38 歳、1 回経産婦)。A さんは第 1 子を 3 年前に病院で正常分娩し、現在の健康状態は良好である。妊娠が判明し、今回は助産所での出産を希望して妊婦健康診査を受けている。妊娠経過は順調である。

50 妊娠 30 週 0 日。A さんは「上の子どもを出産に立ち会わせたいと思っています。でも、夫は子どもがショックを受けるのではないかと心配しています」と話した。

このときの A さんへの説明で最も適切なのはどれか。

1. 「上の子の気持ちを大切にしましょう」
2. 「子どもの立ち会いはやめた方がよいです」
3. 「母親である A さんの希望を第一に考えてください」
4. 「赤ちゃんが出てくるところを見せないようにしましょう」

51 妊娠 39 週 3 日。A さんは、自然に陣痛発来し助産所に到着した。入院時の内診所見は、子宮口 4 cm 開大、Station +1、第 2 頭位。4 時間後に子宮口全開大し、四つん這いの姿勢で分娩することになった。その後、順調に経過し児頭が娩出した。

第 4 回旋で児が顔を向ける方向はどれか。

1. 産婦の腹側
2. 産婦の背側
3. 産婦の右方向
4. 産婦の左方向

52 Aさんは、3,480gの女児を正常分娩で出産した。会陰裂傷第1度であったが縫合はしていない。産褥1日、Aさんは「お産のときに痔が出てしまいました。トイレで戻そうとしたのですが、痛くて触れません。妊娠中からありました。授乳で座っているのもつらいです」と話した。Aさんの脱肛は2cm×2cmの大きさで、腫脹がみられた。

Aさんへの対応で適切なのはどれか。

1. 円座を利用するよう勧める。
2. 授乳以外は横になるよう勧める。
3. 肛門部に冷罨法を行うよう勧める。
4. 臥床時は下肢を挙上するよう話す。
5. 骨盤底筋訓練を実施するよう説明する。

次の文を読み 53～55 の問いに答えよ。

A さん(29 歳、1 回経産婦)。前回の出産は 2 年前であり、妊娠経過は順調で、微弱陣痛のため子宮収縮薬を使用し病院で正常分娩した。今回妊娠が判明し、妊娠 18 週 0 日に自宅での出産を希望して自宅分娩を扱う開業助産師を受診した。開業助産師は近隣の助産師と協力体制をとっている。

53 A さんと初めて会った際の助産師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 自宅分娩の分娩費用を説明する。
2. 自宅分娩の申し込みの手続きを行う。
3. 自宅分娩を希望したことを称賛する。
4. 自宅分娩には家族の理解が必要であることを説明する。

54 A さんは、夫と子どもとの 3 人暮らし。自宅はマンションの 4 階で間取りは 2 LDK である。夫は会社員で育児には協力的である。

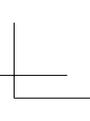
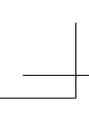
自宅分娩のために助産師が行う事前準備で適切なのはどれか。

1. 助産師が待機する部屋を準備するよう A さんに依頼する。
2. 助産師が到着するまで何もしないように夫に説明する。
3. 分娩時は子どもを預けるように A さんに説明する。
4. 分娩時の協力を近隣の助産師に依頼する。

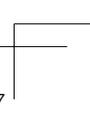
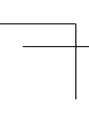
55 妊娠 39 週 5 日。午前 7 時に陣痛が発来し、助産師が A さんの自宅に午前 7 時 30 分に到着した。到着時の内診所見は、子宮口 6 cm 開大、展退度 80 %、Station +1。軽い努責感がある。胎児心拍数陣痛図で、胎児心拍数基線 130 bpm、30 分前から陣痛発作に伴い最下点 100 bpm の緩やかに下降する徐脈が出現し、20～30 秒で回復している。基線細変動は正常である。

この時点での助産師の対応として最も適切なのはどれか。

1. A さんに努責を促す。
2. 嘱託医師に報告する。
3. そのまま経過観察する。
4. 急いで新生児蘇生の準備をする。

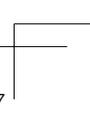
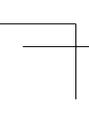


TP04mw-amor-32



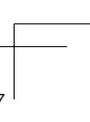
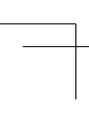


TP04mw-amor-33



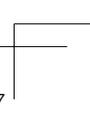
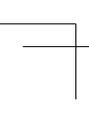


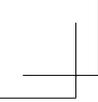
TP04mw-amor-34





TP04mw-amor-35





TP04mw-amor-36

